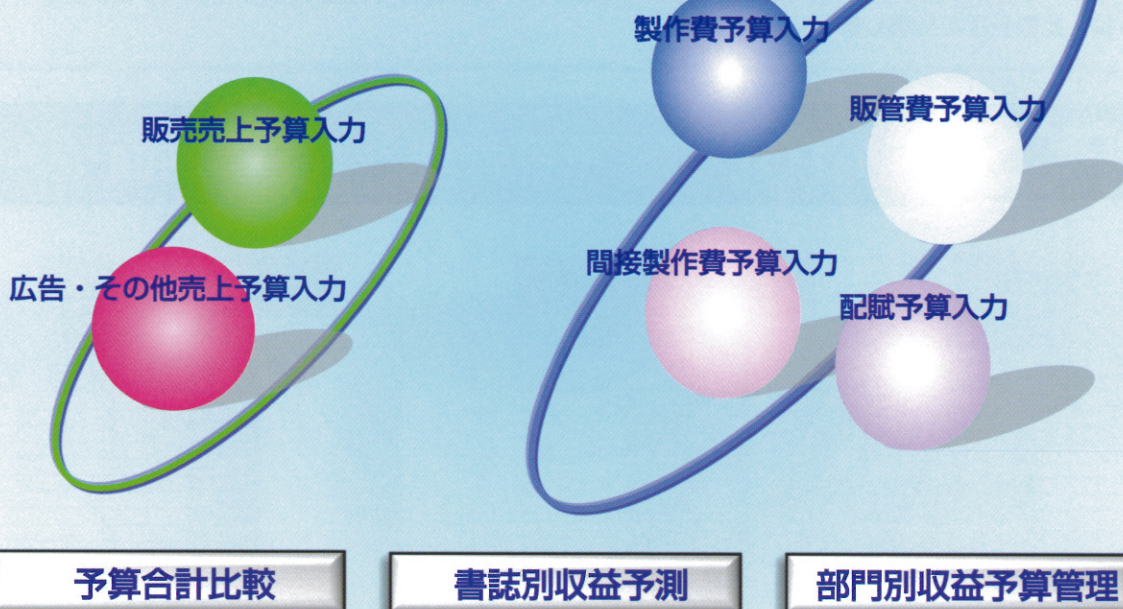


予算管理システム

出版社専用の予算管理を実現しました。
 決算までの残り数ヶ月、売上見込み通りに進捗していますか
 想定される原価と実際に差異はありませんか
 来期の利益目標は管理されていますか

**書誌ごとの売上、原価予算の立案・管理が
 全社利益管理へと繋がります。**



プロジェクト管理体系 部門管理体系

部門別予算・実績比較

書誌別損益予算・実績比較

部門別損益予算・実績比較

全社損益予算・実績比較

売上予算管理

出版社の売上を構成する「書籍」「雑誌」「広告」の売上予算管理が可能です。特に「書籍」「雑誌」ではその特性に応じ「納品」「返品」「見本」「断裁」という項目別に搬入後3年先までの部数売上予算の策定が可能です。また、企画（プロジェクト）の「搬入予定日」の任意変更の実施により、立案された「売上予算」は日付変更に応じてスライドします。

間接製作費・販管費管理

間接原価に対し、配賦機能を装備します。特に人件費に関し、企画（プロジェクト）への配賦処理を実現します。全社共通費、部門共通費に関し、【販管費】として部門直課、全社部門直課に対応します。部門損益管理、全社損益管理に対応します。

予算・実績対比

原価予算に関しては、製品化（原価計上基準日）に同期した費用管理が可能です。i-TOPICS「予算管理システム」で実施される費用管理は、「原価管理システム」で使用される「用途マスター」を利用します。

i-TOPICS「予算管理システム」とi-TOPICS「原価管理システム」等との連動で部門-企画（プロジェクト）ごとの【予算・実績】比較管理を実現します。



販売売上予算入力

「企画マスター」の「搬入予定日」から36ヶ月先までの売上予算を「納品」「見本」「返品」「断裁」のレベルで策定が可能です。
 ※「予算データ」の年次繰越処理で売上予算は年の応じて「スライド」します。
 ※予算策定する「雑誌・書籍」のジャンルに応じて「予定製本数」に対する売上部数、返品部数の割合を発売月から36ヶ月まで「パターンコード」として管理可能です。

直接制作費、間接制作費予算管理

企画マスターの「部門」管理に対応して、費用（直接・間接制作費）の計上部門、対応する編集部門を指定します。係る「企画（刷単位まで対応可能）」に対し、予算費用を入力します。費目は「用途マスター」より該当する用途コードを指定することで、費用積算を実現します。

※ご不明な点あるいはご質問は弊社ホームページをご参照の上、質問シートにてお尋ねください。